

公益財団法人日本高等教育評価機構大学評価に係る評価報告書案の構成及び  
判定等に関する細則

(目的)

第1条 この細則は、公益財団法人日本高等教育評価機構（以下「本機構」という。）の大学機関別認証評価に関する規程（以下「評価規程」という。）第10条第4項の定めにより、評価報告書案の構成及び判定等に関し必要な事項を定める。

(適合)

第2条 本機構が定める大学評価基準（以下「評価基準」という。）を満たしている  
と大学評価判定委員会（以下「判定委員会」という。）が判断した大学に対し、大  
学機関別認証評価結果（以下「評価結果」という。）を「適合」とする。

(不適合)

第3条 本機構が定める評価基準のうち、満たしていない基準があると判定委員会  
が判断した大学に対し、評価結果を「不適合」とする。

2 評価の過程において、虚偽報告や事実の隠蔽等重大な社会的倫理に反する行為が  
意図的に行われていると判定委員会が判断した大学に対し、評価結果を「不適合」  
とすることができる。

(保留)

第4条 前条第1項の大学のうち、評価結果が決定した翌年度4月1日から原則1年  
以内にその基準を満たすことが可能であると判定委員会が判断した大学に対し、大  
学評価結果を「保留」とする。

2 評価結果が「保留」とされた大学の保留期間は、原則1年間とする。

3 前項のほか、判定委員会の判断により、保留期間を変更することができる。

4 評価結果が「保留」とされた大学から保留期間内に再評価の申請がなかった場合  
は、「不適合」とする。

(基準ごとの評価)

第5条 判定委員会は、基準項目ごとの評価を踏まえ、基準ごとに「基準を満たして  
いる」、「基準を概ね満たしている」又は「基準を満たしていない」のいずれかで  
評価を行う。

2 全ての基準項目を満たしている場合は、「基準を満たしている」と評価する。

3 概ね満たしている基準項目がある場合は、「基準を概ね満たしている」と評価す  
る。

4 満たしていない基準項目がある場合は、「基準を満たしていない」と評価する。

(独自基準の評価)

第6条 独自基準ごとの「基準を満たしている」、「基準を概ね満たしている」又は

「基準を満たしていない」の評価は行わないこととし、基準項目の内容を踏まえ、基準ごとにコメントとして「概評」を記述する。

(基準項目ごとの評価)

- 第7条 判定委員会は、「評価の視点」の内容を踏まえ、基準項目ごとの状況を勘案し、「基準項目を満たしている」、「基準項目を概ね満たしている」又は「基準項目を満たしていない」のいずれかで評価を行い、その「理由」を記述する。
- 2 大学の分野の特性、規模や地域性を考慮し、「優れた点」、「改善を要する点」、「参考意見」を記述する。
  - 3 「優れた点」は、使命・目的及び質保証などに照らして、「優れている」と判断した事項であり、質の保証及び向上に寄与する取組み、個性・特色があり一定の成果を挙げている取組み、先進的で一定の成果を挙げている取組み、十分に成果を挙げている取組み、十分に整備され機能している取組み、又は他大学の模範となるような取組みなどがある場合に記述する。
  - 4 「改善を要する点」がある場合は、「基準項目を概ね満たしている」又は「基準項目を満たしていない」のいずれかで評価する。
  - 5 「改善を要する点」は、使命・目的及び質保証などに照らして、「早急に改善の取組みが必要」と判断した事項であり、整備が不十分でほとんど機能していない場合、本機構の評価基準を明らかに満たしていない場合、又は大学設置基準などに抵触する恐れがあるなど、現状のままでは大学運営に支障をきたす可能性がある重大な不備事項（財務状況、定員充足率、専任教員数など）などがある場合に記述する。
  - 6 「参考意見」は、使命・目的及び質保証などに照らして、「更なる取組みが望ましい」と判断した事項であり、整備はされているがあまり機能していない場合、又は整備・充実が望ましいがその対応については大学に判断を委ねる場合に記述する。

(評価報告書案の構成)

- 第8条 評価報告書案は、「評価結果」、「総評」、「基準ごとの評価」、「大学の挙げた特記事項」で構成する。
- 2 前項の「評価結果」は、「判定」、「基準ごとの評価」は、基準ごとの「評価」及び基準項目ごとの「評価」、「理由」、「優れた点」、「改善を要する点」、「参考意見」で構成する。

(改廃)

- 第9条 この細則の改廃は、判定委員会の議を経て理事長が決定する。

附 則

- 1 この細則は、平成30年5月23日から施行する。
- 2 公益財団法人日本高等教育評価機構大学評価の判定に関する細則は、廃止する。